

りんご学校を通じた都市と農村の交流をPR

飯綱町では都市住民との交流による地域活性化を目的に「信州いづなりりんご学校」を開催。拠点として、りんご収穫体験等のイベント取材し、町のPRに参画してきた。

○ 施策分類

都市農村交流

○ きっかけ・背景、課題の把握

長野県北部に位置する飯綱町は人口約1万人、農業が基幹産業の町である。町では、首都圏の方を対象に、特産のりんごを用いて、地域活性化を目的とした「信州いづなりりんご学校」（年3回）を開催。令和5年度第2回りんご学校の開催にあたり、農水本省から幹部として町へ出向している職員から本局と県拠点に町の取組みをPRしてほしいと依頼があった。

○ 取組の内容

町・本局・拠点それぞれのHP閲覧数やBUZZMAFF視聴者等のデータを分析し、PR方法等について3者で検討。拠点ではりんご生産者・地域おこし協力隊・首都圏からの参加者との交流を取材し、その様子を拠点HPで情報発信することとした。

○ 効果・成果、今後の方向性

市町村等からの依頼に応じたPR活動は拠点としてはじめての取組であったが、町と都市住民との交流を拠点HPトップページで発信した後の閲覧者数は50%増加した。新たな担い手の出現や移住等による地域の活性化に繋がるよう、HP閲覧が一つのきっかけとなることを期待し、今後も市町村等からの依頼に応じたPR活動に取り組んでいく。

拠点ホームページ



体制図

